

さくらタイムス 令和6年5月号

お題は「選択」です。人生は選択の連続ですが、その始まりは親が子のためにします。

さくら卒園後どこに入園するか、れんげ組保護者さまに見学・検討をお願いしています。

今から始めていただく理由は、「親は子に何かあればすべて自分のせいにする」傾向がある

からです。極端な事例ですが、かつて大手企業の粉ミルクにヒ素が混入し、1万人以上の

赤ちゃん達が重大な被害を受けた時、集団訴訟担当の弁護士が一番苦労したのは、母達を

原告となるよう説得することでした。多くの母達は「高い方のミルクには毒が入って

なかった、安い方を買った自分が悪い」とか「子どもが嫌がったのに無理に飲ませた私が

悪い」と自分ばかり責めていたそうです。当時は「大手の粉ミルクは栄養価が高い」と

信じられており、子のために一生懸命飲ませた母達にはもちろん何の責任もありません。

それが50年以上たった今でもわが身を責め続ける姿には、ただただ涙しかありません。

就学前3年間の環境は、さくらで「かわいく・賢く」育つ子ども達にはとても大事な場所

となります。これまでで「後悔」がなかったのは「できることはすべてして、その上で

考え抜いて決めた」方々です。子ども達も毎日楽しく過ごせているようです。ただし、

注意すべきは「決して無理をしない」ということです。育児にかかわる家族・親族の皆様

がそれぞれの「ベスト」を持ち寄れば自然と行く先は決まります。どうぞ楽しみながら

お選びになるようお願いいたします。すみれ・たんぽぽさんもその時がすぐ来ますので、

お気持ちの準備をお願いいたします。それぞれの「笑顔の場」に進まれますように。

園長 山内 香幸